

人 ピープル



大臣表彰を受けた読み聞かせの会代表
小山 あつ子さん (70) 日吉町二丁目

本の読み聞かせグループ「萌えぎの会」が、子どもの読書活動優秀実践団体に選ばれ、会の代表として文

部科学大臣から表彰を受けた。
「会の設立から、もう三十年になります。素晴らしい仲間にも恵まれ、こ

本の素晴らしさを子どもたちへ

これまでやってこられました。子どもたちから逆に教えられ、会員も成長してきたんだと思っています。この表彰を契機に、また初心に返って、みんなで頑張っていかなければ」
現在、会員は十五人。乳幼児から小学生までを対象とした「お話の会」を毎月二回、市立図書館で実施するほか、保育所や学校、老人会で読み聞かせを行うなど、地道な活動を展開している。
「子どもの本離れが叫ばれていますが、おもちゃの嫌いな子どもはいないように、本が好きでない子はいないんです。これは、三十年前も今も同じ。読み聞かせで目を輝かす子どもたちの笑顔を見ていれば分かります。今の家庭には、本に親しめる環境が乏しいだけ。若いご両親がそ

れを知るきっかけのお手伝いを、わたしたちはしているんですよ」
特に、小さい子を持つ親から「何歳から本を与えるのが良いでしょうか」と、質問されることも多い。
「赤ちゃんは、おなかの中にいるときから、お母さんが本を読む声を聞いていると思うんです。もちろんお父さんたちにも、できるだけ早いうちから子どもと読書を楽しんでほしいですね。親と子は異なった人生を歩んでいくに違いありませんが、こうした幼児期の体験が、共有財産となつて、親子のきずなを深めていくのではないのでしょうか」
父親が読書好きで、本に囲まれた家庭で育った。今も幅広い分野の本を読んでいる。知識や心を豊かにしてくれる読書の普及に活躍が続く。

学校つうしん パソコン利用し 楽しく学習



城南小学校

城南小で五月一日、総合学習の時間に六年生のパソコンを利用した授業が行われました。設置されているパソコンは二十台、同小は平成二十三年度のコンピュータ学習の研究指定校で、早くから情報教育の推進に取り組んでいます。
パソコン教室のスペースも広くなり、充実した環境の中で、子どもたちは伸び伸びとキーボードに向かっ

ていました。修学旅行の資料集めが今回の学習内容。プリンターのそばで、データが印刷されて出てくるのを待ちきれない様子でした。



Pick up ぴっくあつぷ

早朝の公園をきれいに

四月二十九日の早朝、敷島公園を中心清掃奉仕活動「クリン前橋」が行われました。参加者は、家族連れや各種団体のボランティアなど二千。さわやかな朝の日差しを浴びながら、松林やばら園、駐車場などのゴミを参加者が手分けをして拾い



ました。一時間後、公園内とその周辺はすっかりきれいに。バラと新緑が美しいこれからの時季、敷島公園は多くの観光客を迎えます。